

平成 25 年度新潟市財産経営推進支援業務委託業者選定審査要領

平成 25 年度新潟市財産経営推進支援業務に係る業者選定の審査は、「新潟市財産経営推進支援業務委託業者選定委員会」において、この要領に基づいて行います。

1. 提案書の募集から委託業者の候補者選定に至る過程

- ① 公募，募集要項等の公開
- ② 参加締切
- ③ 参加資格確認結果通知
- ④ 質問締切
- ⑤ 質問回答
- ⑥ 提案締切
- ⑦ 事務局ヒアリング
- ⑧ 1 次審査
- ⑨ 1 次審査結果通知
- ⑩ 2 次審査（提案説明会）による最優秀・優秀提案の選定
- ⑪ 2 次審査結果の通知と公表

2. 提案の審査及び選定

(1) 参加資格の確認

平成 25 年度新潟市財産経営推進支援業務委託業者選定（公募型プロポーザル）募集要項に従い、参加表明した応募者の参加資格要件の確認を行います。

(2) 1 次審査の実施

参加資格要件を満たし、提案書を提出した者に対し、1 次審査を行います。

注：提案書を提出した全ての応募者からの提案を書類審査し、その中から上位 5 者程度を選定します。

(3) 提案説明会の参加通知

1 次審査の結果，選定された者に対し，提案説明会の参加をメールで通知します。

(4) 2 次審査及び選定

選定過程を経て提案の中から最も適格とされる最優秀提案を 1 件，次点の優秀提案を 1 件選定します。また，選定された提案の概要を含む審査結果（評価点を除く）については，本市のホームページなどで公表します。審査結果に対する異議の申し立ては受け付けません。

(5) 優先交渉権者

審査の結果，最優秀提案者を支援業務委託に向けての優先交渉権者とします。また，優秀提案者を次選交渉権者とします。

3. 提案の審査

別紙1「選定評価項目及び評価基準表」に基づき提案書の審査を行います。

(1) 1次審査

提出された提案書を書類審査します。

(2) 2次審査

提出された提案書と提案説明の内容を審査します。

4. 失格の規定

次のいずれかに該当する場合は、失格とします。

(1) 期限までに書類が提出されない場合。

(2) 提出書類に虚偽の記載があった場合。

(3) 審査の公平性に影響を与える行為があった場合。

(4) 平成25年度新潟市財産経営推進支援業務委託業者選定（公募型プロポーザル）募集要項に違反すると認められる場合。

(5) 別紙1の提案番号1～4及び、Aについて提案が、無かった場合。

選定評価項目及び評価基準表

提案番号	評価項目		配点	評価基準	備考
1	施設カルテ整備	(1) 施設カルテ項目の独自性 (2) 施設カルテのアピール性、見やすさ (3) 施設カルテと公有財産台帳、固定資産台帳の連携または、データ取込み	15	・委託仕様書別紙2以外に独自項目を提案しているか。 ・施設カルテが見やすく、要点が把握しやすい構成となる提案がされているか。 ・公有財産・固定資産台帳と関連のあるデータが連携または、取込みできる提案となっているか。	
2	財産白書作成	(1) コンセプトと表現内容の関連性 (2) 評価比較内容の多面性 (3) 財産白書のアピール性、見やすさ	15	・コンセプトと評価方法の関連性が明確にわかるか。 ・施設用途比較などによって、多面的な評価を行なえる提案となっているか。 ・財産白書が見やすく、要点が把握しやすい構成となる提案がされているか。	
3	財産活用基準と活用事例		10	・財産の活用基準と活用事例が提案されているか。 ・財産活用事例の提示があるか。	
4	財産経営推進計	(1) コンセプトと内容の明確性 (2) 企画提案内容の実現性（統廃合、複合化、多機能化） (3) 企画提案内容の応用性	20	・計画策定に向けたコンセプトが明確にわかる提案となっているか。 ・施設統廃合や多機能化などの手法に妥当性がある提案となっているか。 ・企画提案内容が多様な条件に対応できる提案となっているか。	
5	(仮称) 財産経営委員会、同ワーキンググループ (WG) 等の資料作成、運営支援		3	(仮称) 財産経営委員会、同WGの提案がされているか。	
6	トップマネジメント研修会及び市民啓発		2	トップマネジメント研修会及び市民啓発の企画、運営支援について提案がされているか。	
7	国県有財産、民間類似施設の調査、市有財産との関連、連携の可能性を提案		5	・市所有施設の近隣関連施設の調査が提案されているか。 ・調査内容に関連性に関する項目が提案されているか。	
A	情報処理システム	(1) 入出力処理方式の自由度 (2) 複合施設に対応した入力、比較、評価ができる。 (3) 操作権限セキュリティが設定できる。 (4) 運用時の問題対応が優れていること。	15	・サーバを使い複数台の端末で同時処理可能な方式が提案されているか。 ・複合施設内の事業所個々にデータの入力や同類事業所との比較、評価ができるか。 ・操作権限が設定でき、機能の使用制限が出来る提案となっているか。 ・コールセンターなどトラブル対応が迅速にできる体制が提案されているか。	
B	業績実績	(1) 過去5年間の同種又は類似業務の実績 (2) 他都市実績の実現評価	10	・業績実績が証明できる書類が添付されているか。 ・他都市で行なった同種業績がどの程度実現されているか。	
C	業務委託経費見積額及び年度別経費見積額		5	業務委託経費は業務委託費見積額と年度別経費(5年間合計)を合算し、もっとも低い価格を5点とし、次点より順次1点づつ減点する。	
D	追加提案		10	委託仕様書で求める内容以上の追加提案が示され、内容が優れていると判断された場合、10点を上限として加点します。	
提案点数計			110		

※提案番号1～7は、「委託仕様書 5. 業務内容」の項目番号を示す。A～Dについては、項目番号の無い評価項目を示す。